

第13回 ゆとろぎ想ひ出の映画鑑

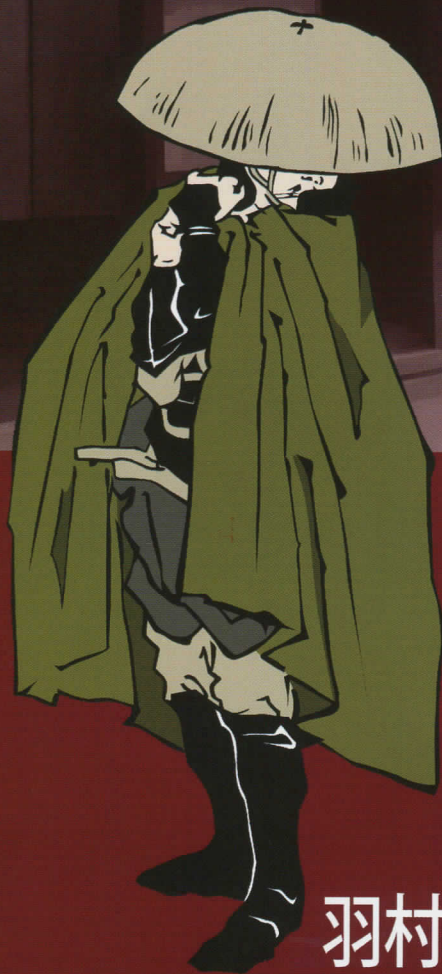
活動大写真/無声映画への誘い

番場の忠太郎・瞼の母

さわと みどり

1931公開作品

活動弁士 澤登 翠が御案内します



幼くして母と生き別れになった忠太郎が長い年月をかけて、やっと母と対面するが、母は今では博徒となった忠太郎を息子を名乗った詐欺師と勘違いし、息子として認めようとしな。切ない想いの忠太郎の「おいら両の瞼を閉じると幼い頃の母の姿が浮かんで来るんだ。」という名セリフで観るものを涙させた有名な作品です。

原作:長谷川 伸/監督:稲垣 浩

出演:片岡 千恵蔵、山田 五十鈴、沢村 春子
他



令和元年 11月17日(日)

開場 13:30 開演 14:00

羽村市生涯学習センターゆとろぎ 小ホール

チケット

【全席指定】入場料500円 8月16日(金)より発売

- ・ゆとろぎ窓口(祝日以外の月曜日を除く午前9時から午後8時)
- ・西多摩新聞チケットサービス(土・日曜日定休) ☎ 0120-61-3737

※ インターネット販売「カンフェティ」<https://www.confetti-web.com/>



お問合せ:羽村市生涯学習センターゆとろぎ 042-570-0707 (月曜休館)

主催:羽村市教育委員会 企画運営:ゆとろぎ協働事業運営市民の会